

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
17ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板



- 今年には雪が多くて毎日学校まで歩いて行くのも大変です。でも、この雪が溶けて歩きやすくなるころには小学校を卒業するのかもしれない、もう少し歩きにくい日が続いてほしいから雪が溶けないでほしいなど思うこともあります。今年の冬は特別な思いがあります。す(マリオさん 12歳・山王)
- 1月9日、娘が「新成人のつどい」に参加しました。会場まで送って行き、幼稚園から知っている面々が、きれいな振り袖姿やピシッとスーツ姿に成長しているのを見て感慨ひとしおでした。(バタコさん 50歳・外旭川)
- 広報あきた1月20日号のインフルエンザ特集は、かなりありがたかったです。小さい息子にもうがい、手洗いの仕方をおちゃんと教えて予防したいと思えました。(Jackさん 28歳・仁井田)
- 広報あきた1月20日号に掲載された7つの予防法でインフルエンザを予防したいです。(シロさん 25歳・新屋)
- 広報あきたでは特に健康面の記事に目がとまります。運動は苦手なので、うがい、手洗いに気をつけ、この冬を乗り切るぞ。健康バンザイ！孫の成長に目を細めているバ(バ)です(佐々木亮子さん 56歳・雄和)
- ごみ減量のために、リサイクルできるものはリサイクルし、トレーなどは洗ってス(ス)パーに持って行ったりと少しずつ行動開始しました(プラステさん 36歳・將軍野)
- 家庭ごみ有料化が決まりました。ごみ減量に努めなければと思いつつ、山間や林野に近いところに居住する者として「不法投棄がなければいいが…」と老婆心ながら懸念しているところです(ゆうわのバ(バ)ーさん 72歳・雄和)
- 広報あきた1月6日号の特集「減災」は保存版にしたいと思えます。防災ネットの登録もしてみようと思えます。日頃の備えが大事なんです。(リサガスさん 41歳・飯島)
- 今年もモノスゴイ積雪のせいで苦労されているかたが多いと思えます。私も雪が降り

地域のお話 おしえて!!

古くから続く下北手の歴史を冊子で紹介
地域の宝、ぎっしり詰まっています

古くからの集落と新興住宅地が共存する下北手地区。昨年6月、下北手地区振興会のみなさんが編集委員となり、市の地域づくり交付金を活用して「下北手・歴史の散歩道」の制作が始まりました。編集委員のみなさんは厳しい暑さの中、地区の史跡・神社・保存樹・記念碑・庚申塚など、79か所もの“地域の宝”を丹念に現地調査。冊子は11月に無事完成しました。

同振興会会長の田口善一さんは「この冊子をきっかけに地区住民はもちろん、多くのかたが下北手に愛着を持ち、注目してくれることで地域づくりが進めばいいですね」と話します。春、冊子を手を下北手を散策する人の姿が目に見えて浮かんでいきますね。



オールカラーで見やすい冊子です。



「多くのかたから反響があり、驚いています」と編集委員のみなさん(柳館字前田面の神明社前で)



おしゃべりかわらばん



「あらや大川散歩道雪まつり」で実行委員長を務めた富田漣さん(新屋)

地域の絆で10周年

地域のコミュニケーションをはかるため、十條団地町内会で始まった雪まつりも、新屋のみなさんの協力で今回は12の町内会が参加してくれました。冬の恒例イベントとして今後も継続していきたいです。

3年間の集大成です

卒業制作展の作品は、学校で学んだことを生かし、テーマから制作まで手がけた3年間の集大成です。制作展は21日(火)まで赤れんが郷土館で開催しています。「明日のクリエイター」の作品をぜひ見に来てください。



秋田公立美術工芸短大附属高等学院卒業制作展実行委員長の佐々木麻里さん



けやき大学(市社協)の太極拳教室に参加した長崎美喜子さん(添川)

太極拳で体ぼっかぼか

太極拳はゆっくりした動きですが、手足の動きをスムーズに連携させるのが難しいですね。音楽に合わせて型の動作を続けると血のめぐりが良くなり体がぼかぼか温かくなります。寒い冬にはとてもいい運動です。

寒いけど楽しい!

子どもたちは寒さもへっちゃらでサルのエサやりやゾウのまんまタイムを楽しんでいました(晃永さん)。

オオカミは冬でも元気でしたが、ライオンは寒くて大変そうでした。夏との違いがおもしろいです(美鶴さん)。



雪の動物園に来ていた寺山晃永さん(將軍野)、美鶴さん、椎菜ちゃん、生隼ちゃん

冬でも元気いっぱい

いつもはウェスター2階の子育て交流ひろばでブロック遊びなどをしていますが、今回は1階の広い多目的ホールで子どもとおもいっきり遊べました。冬でも大勢の友だちと一緒に遊ぶので毎回参加しています。



おもいっきりあそぶdayに来ていた岩城麻耶さん(新屋)、隆仁ちゃん(左)、隆馬ちゃん



1月28日、新屋大川散歩道で雪まつりが開催されました。本部前では餅つきなどが行われ、多くの人でにぎわいました。

積もるたびに汗をかきかき雪かきをしています。一晩でものすごく積もった雪に苦労していたとき、秋田中央高校の野球部員のみなさんが手伝ってくれて一気に片付いてしまいました。本当にありがたかったです(五十嵐ひとみさん 41歳・土崎)

●今年も雪の多い厳しい冬になつてしまいました。でも、雪かきをして、豆をまいて、おひなさまを飾つてと、日々を元気に過ごしながら春が来るのを楽しみに待ちたいと思います

(もの花さん 49歳・手形)

係からひとこと

どうも雪には「いい雪」と「悪い雪」がいるようで、今冬は特に「悪い雪」が精力的に活動しています。寒い。それでも「いい雪」も負けじと頑張つていて「オーパス」「雪の動物園」などでは子どもたちの歓声を背に受け「雪」としての本領を発揮しています。また、木々をまるで水墨画のように飾つたり、川の流れの岩に丸くちよこんと座つて冬の深流を演出したりするなど、地味ではありますが冬の情緒活動を続けている「いい雪」たちもいます。

「悪い雪」には活動を休止していただき、「いい雪」たち、春まで頑張れ!(渉)



外旭川地区 市民協働で通学路を一斉除雪



地域みんなが一致団結。心地よい汗を流しました。

1月22日、市民憲章外旭川地区推進協議会の呼びかけに地域のみなさんが賛同し、外旭川小学校周辺の道路を一斉除雪しました。歩道の雪を道路に出し、市が排雪作業を担当。地域みんなの協力で通学路の安全を確保することができました。



子どもたちの安全を願って